

危険ドラッグから 市民を守るために

小林正樹(公明党)

①読書は心を落ち着かせ、ストレスを分散し、アルツハイマー病やうつ病の予防にもつながる。活字文化の復活で健康なまちづくりを提案する。借りた本の履歴を目に見える形で残し、読書意欲を高める「読書通帳」を導入しないか。また、様々な店先などをお借りするなど、いつでも・どこでも・だれもが本と出合えるまちにしないか。

②認知症対策は、早期発見や周囲の理解が重要である。多摩26市で子ども向け講座の未実施の自治体は残り4市である。



「認知症キッズサポート養成講座」を実施しないか。

③危険ドラッグから市民を守るために、大人向けの対応も更に行うべき。駅前イベントの開催や、市報やホームページで特集ページを組むなどできないか。

福祉保健部長 大人向けの対策も含め、啓発に取り組み。市報やホームページの対応については、実施する方向でまずは検討したい。



厚生労働省の危険ドラッグ禁止啓発ポスター

在宅医療の推進について

五十嵐京子(改革連合)

①地域における医療及び介護の総合的な確保を推進する法律が制定された。地域包括ケアシステムの構築は、介護と医療がスクラムを組むことで初めてできていく。(ア)在宅医療の充実が大きな柱だと思うが、市の認識は。(イ)医師会との話し合いが欠かせないが、連携の現状は。(ウ)介護保険者である市の役割は。

②公民館貫井北センターがオープンして5か月。(ア)初めての



NP O法人運営に対する市の評価は。(イ)2年目に向けてNP O法人だからできる柔軟性に富んだサービスを考えていくべき。正会員の役割をどう考えるか。(ウ)NP O法人がやることで、独自性が発揮できるような裁量権を広げていくべきではないか。

会員は事業運営に自ら参画する役割を持っている。(ウ)将来的にどのようなステップアップをしていくかも含め、NP O法人側とも協議したい。

②公民館貫井北センターがオープンして5か月。(ア)初めての



平成26年4月にオープンした貫井北センター

地域の見守りネットワークの再確認を

遠藤百合子(自民党小金井)

①地域安全課や教育委員会、自治会、小中学校PTA、小金井警察署等の協力で地域の安全が守られている。(ア)子どもを見守る家、カンガルーのポケットの今後は。(イ)安全安心メールの広がり。(ウ)弁天通踏切跡付近の安全対策は。(エ)わんわんパトロールの動向は。(オ)袖ヶ浦市の



高齢者見守りを参考にしないか。

②信号機の設置が難しい交通危険箇所の安全対策は。

都市整備部長 (ウ)信号機設置を小金井警察署にお願いしたい。福祉保健部長 (オ)高齢者の見守りは、協議しつつ検討したい。

都市整備部長 小金井警察署では、横断歩道の引き直し、横断歩道ありの看板設置、横断歩道標識を道路上にオーバーハングの形で設置。市では、路面のカラー舗装、減速マークの路面表示、注意喚起看板を設置。

■その他、危険ドラッグ等薬物乱用防止について質問しました。



登校する子どもたちを迎える校長先生

ココバス運営と 不登校児童への対応は

岸田正義(市議会民主党)

①ココバス運営について。(ア)赤字削減に向けバス停の広告やネーミングライツの検討は。(イ)目的と効果を考慮した補助金上限額の考え方は。(ウ)限りある財源だからこそ選択と集中が必要であり、持続可能な運営指針が必要では。(エ)バスより安価で狭い道路に対応可能なコミュニティ

②不登校児童への対応について。(ア)児童相談でも教育相談でも、保護者の気持ちに寄り添って



イタクシーの導入や地域住民が支えてる仕組み作りの検討を。都市整備部長 (ア)検討に至っておらず、今後研究する。(イ)補助金の上限額を定めることは難しい。(ウ)考えていく必要がある。(エ)今後研究していきたい。

③不登校児童への対応について。(ア)児童相談でも教育相談でも、保護者の気持ちに寄り添って

「いぬ・ねこ手帳」には犬猫を飼うときの6か条があり、最後まで責任を持って飼うなどの諸注意が記載されている。これを市民に周知したい。(イ)既に廃止した不妊手術助成制度の復活は考えていない。

②10月から「高齢者用肺炎球菌ワクチン」の定期接種化が実現した。(ア)任意接種の状況は。(イ)定期接種制度への対応は。(ウ)一生に一度、1回限りの機会を逃さないよう、全対象者へ個別に通知を送付しないか。



福祉保健部長 (ア)平成22〜25年度に、全対象者の7%である千75人が接種した。(イ)65歳以降5歳刻みの方と100歳以上の方が対象。市報、ホームページ、ポスターで周知する。(ウ)接種希望者へ分かりやすい周知に努める。

■その他、空き家対策について質問しました。

環境部長 (ア)東京都発行の「いぬ・ねこ手帳」には犬猫を飼うときの6か条があり、最後まで責任を持って飼うなどの諸注意が記載されている。これを市民に周知したい。(イ)既に廃止した不妊手術助成制度の復活は考えていない。

②10月から「高齢者用肺炎球菌ワクチン」の定期接種化が実現した。(ア)任意接種の状況は。(イ)定期接種制度への対応は。(ウ)一生に一度、1回限りの機会を逃さないよう、全対象者へ個別に通知を送付しないか。

環境部長 現状調査は年度内に終了する。個別の対応で難しいこともあるが、条例がある以上使命として当然行っていく。

②近年空き家の存在が問題視されており、法律や条例による

対策が必要なる状況にある。空き家が持つ問題には、環境面ないし倒壊のおそれといった防災上深刻な事態まで多くの側面があるが、税法上の課題もあり、行政が撤去を指導するだけでは所有者が応じないケースも想定される。少なくとも市民の生命・身体に危険を及ぼすような状況にある場合には、行政代執行による強制撤去も可能となるよう制度設計すべきと思うがどうか。

③不登校児童への対応について。(ア)児童相談でも教育相談でも、保護者の気持ちに寄り添って

身近な条例の役割と 実効性について

湯沢綾子(自民党小金井)

①本市には「まちをきれいにする条例」があるが、路上喫煙の禁止や自動販売機のそばにゴミ箱を設置する義務等、必ずしも守られていないものもある。真面目に条例を守っている市民が損をするような運用だけはすべきでない。もし規定に実効性がないのであれば、見直すこと



も必要と思う。自販機の回収容器的設置について、現状を把握し、条例に定める指導や勧告等の措置を行っているか。

②近年空き家の存在が問題視されており、法律や条例による

対策が必要なる状況にある。空き家が持つ問題には、環境面ないし倒壊のおそれといった防災上深刻な事態まで多くの側面があるが、税法上の課題もあり、行政が撤去を指導するだけでは所有者が応じないケースも想定される。少なくとも市民の生命・身体に危険を及ぼすような状況にある場合には、行政代執行による強制撤去も可能となるよう制度設計すべきと思うがどうか。

③不登校児童への対応について。(ア)児童相談でも教育相談でも、保護者の気持ちに寄り添って